

静岡県立藤枝北高等学校 古代体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

平成29年9月14日（木）

勾玉作り体験

9月14日（木） 静岡県立藤枝北高等学校を訪問し、3年生選択授業「郷土史」の授業として「勾玉作り」に挑戦しました。

まずは、藤枝の代表的古墳である若王子古墳群や縄文時代から見られる、あの不思議な形の勾玉（曲玉）、その形状は、動物の牙を模しているとする説や母の胎内にいる初期の胎児の形を現しているのではなど諸説があります。そんな謂れや発掘の様子などの解説を聞いた後、いよいよ勾玉作りに取り組みました。

出土した勾玉の多くは、翡翠や瑪瑙、水晶といった硬い石を加工して作られていますが、今回の体験では、やわらかくて加工しやすい滑石（蠟石）を、金属や紙のやすりを使って形を整えて作りました。



最初は戸惑いもありましたが、進めるうちに次第にのめりこみ、勾玉作りに没頭し、紙やすりを使って、丁寧に磨き上げて完成させることができました。一時間程度の短い体験時間でしたが、完成までこぎつけて首からさげる生徒もいました。